

建築家からのメッセージ



堺 武治 サカイ タケハル

1968年 熊本市生まれ/1993年(有) SDA建築設計事務所入所/1999年 堺武治建築事務所設立
[資格]一級建築士/住宅医/木造住宅耐震診断士/熊本県ヘリテージマネージャー/被災建築物応急危険度判定士/くまもと県産木材アドバイザー

●一級建築士事務所 堺武治建築事務所

〒861-4101 熊本市南区近見2-13-29

TEL:096-353-0805 FAX:096-353-0809

E-mail: info@sakai-takeharu.com

URL: http://www.sakai-takeharu.com/

住宅設計で大切にしていること

住宅は、「人を幸せにする場」であってほしいと思っていますので、家族が暮らし始めて、幸せな暮らしを送っているかどうかを常に考えています。そのために、家族のライフスタイルを形にすること(建て主の思い・こだわり・好みを理解して、住む人の夢を現実化すること)が私の仕事だと思っています。

建築設計という仕事をなぜしているのか?

小学校1年生の時に大工になりたいと思っていましたが、6年生の卒業文集では建築設計者になりたいと書いています。そのまま想いは変わらず、夢が叶った幸せ者です。根っからの建築好きで、大好きなことがそのまま仕事になっている状態です。設計って、楽しくてしょうがないです!

その他の設計作品



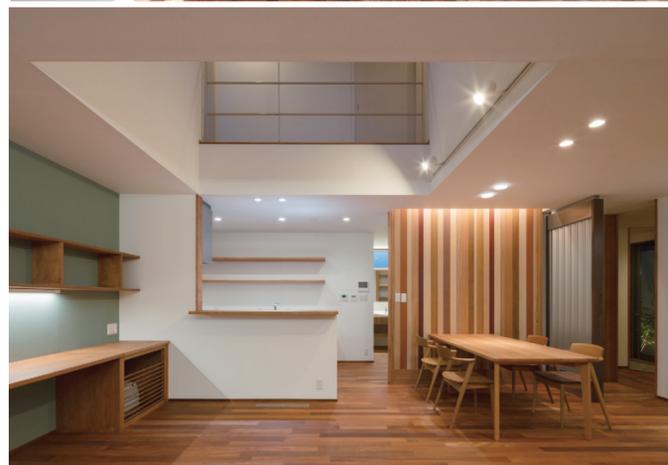
■豊崎の家
大手ハウスメーカーの家をリノベーションした住宅
(撮影:Y. Harigane)



■西片町の家
築30年の純和風木造住宅をリノベーションした住宅
(撮影:Y. Harigane)



■西原村河原団地
設計チームKulosで設計監理を行った災害公営住宅



上/朝日が差し込むLDK+和室6帖。輻射式冷暖房パネルが見える
下/夜のLDK。2階吹抜けの奥が子供部屋



上右/玄関ドアを開けると、正面に光庭有り
上左/子供部屋。将来は、中央で2分割可能。
ランマ部OPENとしている
下/廊下より吹抜けを見る。
東側の窓から十分な光が差し込む



設計データ

- 敷地面積…214.68㎡ (64.94坪)
- 延床面積…191.38㎡ (57.89坪)
- 1階/89.35㎡ (27.03坪)
- 2階/102.03㎡ (30.86坪)
- 竣工年…2018年
- 用途地域…工業地域
- 建ぺい率…56.99%
- 容積率…89.14%
- 構造…木造2階建
- 構造設計…きいぶらん
- 設備設計…堺武治建築事務所
- 施工…有限会社 ウェダホーム

建て主が要望した点

熊本地震で被害が酷かったこの地域。この場所に建っていた旧宅も液状化で傾き、解体を余儀なくされる。交通量の多いバス道路に面した角地のため、プライバシーを守ることに第一条件。家族5人(夫婦+子ども3人)が暮らすための諸室と事務所。駐車場2台+来客用1台。家の中が明るくて、家族の気配を感じられる、暖かい家。また、地震被害に遭っていることから、地震に強い家も要望しました。

実際1年半住んでみて、要望通りプライバシーが守られた、とっても明るい住宅になっており満足しています。冬もまったく寒くなく、58坪の家を9坪のエアコン1台で賄えることに驚いていますし、光熱費も安くすむので助かっています。

建築家が工夫した点

西側と北側が道路に面した角地だったため、プライバシーを守るためにその2面の1階にはほとんど窓を設けていません。また南側も広い駐車場があり、極力窓を設けない設計にしています。その分、東側に大きな窓を設けて十分な採光を確保し、LDKに吹抜けを作ることで建物の奥まで光が届く工夫をしています。また子供部屋の個室化を避け、気配を感じられるように吹抜けに面して子供部屋を配置し、引戸のランマ部をオープンにすることで音や光を確認できるようにしています。断熱性能もHEAT20G1程度になっており、太陽光パネルも設置したZEH住宅であり、構造は耐震等級3を確保した長期優良住宅となっています。

プライバシーが守られた、 とっても明るい高断熱の家

case

家族構成……夫婦+子ども3人
場所……熊本市熊本市

34

近見の家

交通量の多い道路(北西側)から見た外観(撮影:Y. Harigane)

